

## 2023年9月期決算説明会 質疑応答集

この質疑応答集は2023年9月期決算発表会での質疑回答をまとめたものです。なお、ご理解いただきやすいよう、一部表現の変更や内容の加筆・修正を行っております。

**Q1. 冷蔵倉庫事業についての質問です。今期3ヶ所の稼働後、来期以降の建設ペースがスローになる計画のようですが、全国の拠点配置が完了に近づいているということでしょうか？**

- A. 一現在既に6ヶ所着工しております。その後の建設計画については、開示できる段階にございませんが、今後の環境変化や2024年問題で明らかとなる課題に対応するために、需要のある地域への展開は、積極的に検討を進めてまいります。
- 一方で現在は、建設業界の人手不足や半導体不足などもあり、建設したくても発注が困難となっております。6拠点を一気に着工することを決定した段階では、少し性急過ぎかとも思いましたが、早期に決断したことが大変良かったと考えております。引き続き、条件があれば必要な拠点に必要な投資を積極的に行う方針です。

**Q2. 食品販売事業のB2Cの新たな商材について、ヨコレイブランドでの展開を検討されているのでしょうか？また業績貢献のイメージを教えてください。**

- A. 一B2Cに関しましては、他社冷凍食品メーカーに追従することは考えておりません。具体的なブランド等は、これからの検討となりますが、半生、半加工、簡便なものなど、お客様ニーズを捉え、当社にしかできないオンリーワンの商品開発を進めてまいります。業績インパクトの件につきましては、今後食品販売事業の収益性を高めた体質強化が、当社のROEを高めるうえで最も重要なことと認識しております。そのために環境変化に適応できるよう食品販売事業を変革させていく必要があると考えております。中期経営計画の中でも構造改革が進展し、確かな手ごたえを感じております。
- 冷蔵倉庫事業は、集中的に投資を進めておりますが、5～6年後には、現在建設している冷蔵倉庫がフル稼働となり、成果となって表れてまいります。その時に食品販売事業も安定的な利益を産みだせる体質になっていることで、更に業容拡大を図れるものと考えております。

**Q3. モーダルシフトについてお聞きします。冷凍品についてはトラック輸送が中心でしょうか？ 2024年問題と関連しまして鉄道や船輸送へのシフトはお考えでしょうか？**

A. ー2024年問題は、運送会社のトラックドライバーの働き方改革の問題です。自社で運送会社を保有している他社企業は、運送事業に関しての施策を掲げておりますが、その一つがモーダルシフトなのではないかと考えます。当社は運送事業を自社で保有しておりませんので、モーダルシフトなどの解決策を判断することはございません。運送会社と取組んで最適な物流を考えていく中で、当社がどのような形で地球に優しい輸送モードに協力できるかを積極的に検討してまいります。

**Q4. 中期経営計画の経営基盤の人的資本経営の推進で、新卒の初任給の引き上げについて書かれていますが、労働人口が減っていく中で、中途採用についてはどうお考えかをお聞かせください。**

B. ー中途採用に関しましても、新卒と同様に重要だと考え採用活動を行っております。キャリアを持った方々や専門的な知識を持った多様な人材を積極採用することが、今後当社が成長するうえで益々必要になってくるものと認識しております。

**Q5. 冷蔵倉庫業界の中で、新中期経営計画で掲げられた環境対応やスマート化がお客様からの業者選別に影響してくるのでしょうか？また、環境対応することにより、御社の業界におけるシェアが高まるとお考えでしょうか？**

A. ー当社は環境問題に対して以前から取り組んでまいりました。特に太陽光発電に関しましては、業界に先駆けて17年前からソーラーパネルを冷蔵倉庫の屋上に設置してまいりました。当時は、十分な発電量はございませんでしたが、継続的に進めてきたことで現在業界でもトップクラスの発電能力を持つに至りました。それによりエネルギー価格高騰の中でも恩恵を受けており、太陽光の蓄電により災害時の倉庫内冷却にも対応できるようになっております。

また環境問題としては、脱フロンも非常に重要であり、特に大手のお客様は、スコープ3までの対応が必要となってきております。積極的な対応を進めないとお客様から選択されなくなります。環境問題や気候変動の問題が注目されている中で、環境対応については今後益々重要になると考えております。

一方最近では、外資系や大手デベロッパーによる賃貸倉庫の新設が注目されておりますが、業界における当社のシェアについて大きく変化するとは、全く考えておりません。

冷凍食品等の保管ニーズ、温度管理された空間需要は更に高まることが予想されます。  
ビジネスチャンスとしてしっかり取り込んでまいります。

以上